

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU



June 2017
No.772



元気の出るふるさと講座(上越市)
観光ポスターを作り、イベント会場でPR活動を行いました。

4~5 特集 ようこそ 県大会・見附市大会へ

大会実行委員長 刈谷 正人

CONTENTS

- 2………… トピックス 「第1回理事会・評議員会開催」
- 3………… 視 点 「目的の共有」新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課長 中尾 慶一
ひろば 「陶芸講座を受講して」 燕市・陶芸サークル「ぽったりー倶楽部」 酒井 啓子
掲 示 板 「関プロ理事会出席・会場視察」
- 6………… 実践記録シリーズ 「まつのやま通学合宿」 十日町市中央公民館
- 7………… サークル交流 「田上町文化協会」(田上町) / 「お花が結ぶ素敵な仲間たち」(南魚沼市)
素 顔 拝 見 徳永 拓実さん(弥彦村) / 井熊 靖さん(湯沢町)
- 8………… お元気ですか 「地域活動のおかげで」 新潟市・永田香久子さん
ネットワー

第1回理事会・評議員会開催

今年の第1回理事会・評議員会が5月19日(金)に新潟市東地区公民館で開催されました。理事会は午前10時から評議員会の運営と市町村負担金見直し等の協議が行われました。続いて午後1時から、来賓に県生涯学習推進課・加茂辰也課長と同・中川日里副参事を迎えて評議員会が行われました。



評議員会:加茂課長のあいさつ



理事会:右 笹川会長

〈役員改選〉

役員任期は規約で2年間になっています。今年度は任期2年目で改選はありませんが、役員が異動等のあるときは後任者がその任を引き継ぐことになっていきます。新任の役員は次のとおりです。

会長 笹川 桂一 (上越市立公民館)

理事 遠藤 勝 (阿賀野市中央公民館)

監事 高橋 健一 (魚沼市中央公民館)

評議員 板垣 敏幸 (村上市中央公民館)

// 田中 未来 (燕市中央公民館)

// 神田 久利 (阿賀町公民館)

// 鈴木 規幸 (十日町市中央公民館)

〈協議〉

評議員会では議長に渡辺孝志・糸魚川市中央公民館長を選出し、次のことが協議されました。

1 会務報告:承認評議員会

2 会計決算、監査報告:承認



左から高橋監事(魚沼市)越前監事(佐渡市)田原事務局長

3 活動の基本方針と事業計画:承認

4 会計予算:承認

公民館月報の原稿執筆お礼(図書カード贈呈)は、一般の方や大学教授等のみとし、学校や官公庁関係者には礼状のみとすることにしました。

5 今年度の県大会(見附市大会)開催要項:承認

永年勤続者表彰者の推薦締め切りは6月6日(火)。遅れないよう要請がありました。

6 来年度の県大会(新潟市大会)の説明

開催日と会場
平成30年7月19日(木)
新潟市江南区文化会館
関係機関、各種団体との連携事業・運動等の協力:承認



評議員会 活発な意見交換

8 市町村負担金の見直しについて

(1)事前アンケートのまとめ
①財政当局に説明できるように見直しが必要
②他県の財政等の運営状況を調査
③負担金の値上げは難しい
④県公連の事業見直しで負担

金減を

(2)協議・意見
①合併前の平均割と人口割を見直す
②まちづくりと人づくりが活動目標であれば公民館単独では無理。県との協働が必要

③予算編成に権限を持つ市長会、町村会に働きかけが必要
④事業費減の一層の工夫を

(3)確認事項

平成29年度の負担金はすでに示されている金額。6月中旬までに市町村に納入通知が送付される。平成30年度は、平成29年度と同額を予定している。負担金額の見直しについては引き続き理事会で協議を行う。

会議は、負担金の見直し協議に時間をかけました。問題点が多くあることから、今後は具体的な改善点を時間をかけて明確にしなければならぬと思います。次回は理事会が6月9日(金)に開催されます。(田原)



「陶芸講座を 受講して」

燕市・陶芸サークル
「ぼったりー倶楽部」

酒井 啓子



公民館で陶芸を始めてから9年が経ちました。市民講座でしばらく学び、現在はサークルに所属して、自分のペースで制作しています。

講座やサークルには、様々な年代や職業、地域の人々が、それぞれ日々の生活がある中で、いろんな思いを持って集まってきます。文化祭やフェスティバルの際にずらりと並ぶ作品を観ていると、ここが多くなるとして、

意味のある時間を過ごせる特別な場所であることを感じます。私にとってもそうです。

陶芸講座は夜間で月3回。絵付け作業が好きな私は、皿や器を作ってはひたすら絵や模様を描きました。目の前の作業に没頭しているうちに気持ちが落ち着き、仕事帰りによい気分転換になりました。休日には、仲間達と県内の窯巡り、陶芸家の作品鑑賞、先生に付いてクラフト

視点



新潟県立生涯学習推進センター
学習振興課長 中尾 慶一

「目的の共有」

20年近く前、県外にある国立青少年教育施設に勤務したことがあります。小・中学校や地域の子ども会などで施設を訪れた子どもたちに、毎日のようにアーチェリーやカヌーを指導し、楽しい時間を過ごしました。また、1週間かけて行う社会性育成のプログラムなど、その施設の使命である先進的事業を企画・運営するという貴重な機会を得ました。さらに、様々な研修の機会にも恵まれ、全国各地を訪れて多くのことを学ぶことができました。これらの経験を通して、強く心に残っていることに、「やる

ことが目的となっていないか、常に自己点検を怠らない」があります。

1週間かけた社会性育成プログラムでは、登山や野外炊飯など多様な活動を取り入れました。外部スタッフの協力を得て無事終了したときに、それぞれの活動について評価を行いました。肝腎な社会性育成については見落とししてしまいました。恥ずかしいことですが、国への最終報告の段階で、細かい指導を受けたことを今でも覚えてい

ます。

さて、学校教育や青少年教育など「教育」と名が付くものには目指す目的があります。そして、その目的を達成するために、手段や方法を工夫します。しかし、

当初の目的を忘れて、「昨年もやったことだから」「例年どおり」で行っている活動や取組が意外と多いものです。手段や方法を工夫して企画した活動や取組を行うことが目的にすり替わることがないように、常に多面的に評価し、絶えず見直すことが必要です。そのためには、携わる職員が「目的の共有」を確実に行うことが大事になります。

公民館の目的は、「地域住民の生活文化の振興、社会福祉を増進すると、社会教育法第20条にあります。各種の講座やプログラムを行うことが目的化されていないか、自己点検を忘れないことが「地域の宝」である公民館を一層輝かせたいと思います。

掲示板 HOT NEWS

5月11日(木)12日(金)に開催された第1回関ブロ理事会に笹川会長と事務局2名が出席してきました。会議には、全公連会長と事務局長が主催者として出席しました。大会主管県の群馬県公連が詳細な開催要項を説明し了解されました。事例発表者の参加旅費について、主管地以外は担当県が負担するという申し合わせを一部見直すということが確認されました。2日目は会場視察を行いました。全体会場、分科会場とも立派な施設でした。

関ブロ理事会出席・会場視察



分科会場 臨江閣(文化財)



視察バス

特集

ようこそ

県大会・見附市大会へ



大会実行委員長

刈谷 正人

第68回新潟県公民館大会が7月14日(金)、見附市文化ホールアルカディアを会場に開催されます。中越地区の公民館職員が協力し合いながら、大会の成功に向けて準備を進めています。

1 はじめに

今大会のテーマは「地方創生における公民館の役割」と地域を育む公民館活動をめざして」を掲げました。

このテーマは、公民館を運営する私たち職員にとって、最優先の課題ではないかと考えます。公民館利用者の減少や固定化など、現在の公民館が抱える問題を再認識し、幅広く地域の人々が集い、公民館がまちづくりの拠点となるには、どこに目を向け、何が必要なかを、今回初めて行いますトークセッションや各地区の事例発表をとおして、参加される皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

2 新企画「トークセッション」にご期待ください。

今大会では、従来の記念講演に代えてトークセッションを行います。あまり聞き慣れない言葉ですが、コーディネーターとトーク者に加え、会場の皆さんも参加するディスカッションのイメージです。コーディネーターには、現在、新潟市アグリパーク教育ファーム園長として活躍されている真柄正幸さんを、トーク者には……の経験をお持ちである、上越市の沢田繁さんと燕市の高桑紀美江さんを迎え、「公民館の現状と未来」について、豊富な経験と知識を基に語っていただきます。きっと、明日からの公民館活動へのヒントが得られることでしょう。この新しい企画にごうぞうご期待ください。



名木野小学校伝統劇草薙龍

3 小学生が演じる伝統劇をお見逃しなく

昼食後のアトラクションは、見附市立名木野小学校3年生・4年生全児童による、ヤマタノオロチとヤマタケルの神話をもとにした伝統劇「草薙龍」をご覧いただきます。

この物語では、小学校のすぐ近くを流れる、かつて暴れ川だった刈谷田川がヤマタノオロチにたとえられ、人々がオロチと戦った様子が描かれています。昭和54年に初めて上演されたから、伝統劇として行事などで地元の人たちに披露し続けており、現在は3年生と4年生が引き継いでいます。

ステージ上を躍動する2体の龍の迫力と、児童のひたむきな演技にご注目ください。

4 人づくり・まちづくりの事例を学ぶ

午後の事例発表は、次の3地区の皆さんから発表していただきます。

1. 上越地区
2. 下越地区
3. 新潟市

(発表順)

いずれも地域を元気にする取組に関する発表になる予定です。

5 中越地区の特産品を「用意

第68回大会は、見附市と三条市を中心に、オール中越が大会を盛り上げるために協力しています。物産販売コーナーも中越地区の魅力ある特産品をご用意いたします。

地元見附市のコーナーでは、全国的にも珍しい、自治体が運営するインターネットショッピングモール「どまいち」のオススメ品を、和のスイーツを中心に取り揃えます。また、障がいのある子の親の仲間「ほっぽ・どりいむ」が製造している、クッキーやラスク、パウンドケーキなども販売します。さらに、他の市町村からも様々なオススメ品をご用意しますので、ぜひご期待ください。



みつけ健幸の湯ほっとぴあ

6 皆さんの来館をお待ちしています

県のご真ん中、見附市に多くの方からおいでいただけるように、今大会の参加費は昨年と同額の1,000円にしました。

7月14日(金)の大会当日まで、残すところ1ヶ月あまりとなりました。準備は着々と進んでいます。当日は、県内各地からおいでいただいた皆さんから喜んでもらえるような大会運営に努めてまいります。皆さんのお越しを心よりお待ちしております。



みつけイングリッシュガーデン



どまいちのオススメ品

● 日程

- 10:00 受付
- 10:30 開会式
公民館永年勤続者表彰式
- 11:00 トークセッション
テーマ「公民館の現状と未来」
コーディネーター 真柄 正幸氏
(新潟市アグリパーク教育ファーム園長)
- 13:10 トーク者 沢田 繁氏(上越市)
トーク者 高桑紀美江氏(燕 市)
アトラクション
見附市立名木野小学校3年生・4年生による伝統劇「草薙龍」(くさなぎりゅう)
- 13:30 事例発表
上越地区 1件
下越地区 1件
新潟市 1件
- 15:00 閉会式

(大会事務局)第68回新潟県公民館大会事務局

〒954-0053
見附市本町2丁目5番9号(見附市中央公民館内)
TEL 0258-62-1058
FAX 0258-62-3199
E-mail tyukou@city.mitsuke.niigata.jp

○大会参加申込みは、5月25日(木)発送の開催パンフレットの申込み用紙により、6月26日(月)まで
お申し込みします。

実践記録シリーズ

231

「まつのやま通学合宿」

十日町市中央公民館

はじめに

元々は、山村留学事業を行っていた民間団体が始めたものですが、平成15年度から旧松之山町が事業主体となり、平成17年の市町村合併を経て現在に至っております。小規模校であることや先生方の協力もあり、毎年ほぼ100%近い参加率となっております。

合宿の概要

【小学生の部】

小学4年生から6年生までを対象に、築50年余の廃校となった木造校舎を改築・利活用した「三省ハウス」を会場に3泊4日で行います。男女別に班分けをして、班の中で役割分担して活動します。普段の生活では家族に依存しがちな子どもたちが、異年齢の団体生活の中で日常生活の



初日のオリエンテーション



合宿所に入るところ

基本を自分自身で行いながら学校に通うことにより、自主性・協調性を伸ばし「生きる力」を身につけることを目的にしています。

活動の内容には特別なメニューはありませんが、最終日だけは隣の地域にある大地の芸術祭の作品である「まつだいの農舞台」に出かけ周辺散策で田んぼの生き物や草花の特徴などを学んだり、アート作品の説明を聞いたりしたあと、通学合宿の感想を絵や文章にまとめて終了します。

【中学生の部】
中学生は全学年を対象に2泊3日で行います。小学生の部と大きく違うのは、1泊少ないこと、夕食後に課外授業を行うこと、その時間を捻出するために、下校時に松之山温泉で一斉に入浴を済ませてから合宿所入り

【中学生の部】
中学生は全学年を対象に2泊3日で行います。小学生の部と大きく違うのは、1泊少ないこと、夕食後に課外授業を行うこと、その時間を捻出するために、下校時に松之山温泉で一斉に入浴を済ませてから合宿所入り



初日のオリエンテーション



することなどです。

課外授業の講師には、例年大地の芸術祭関連の作家の方などをお願いしています。28年度の課外授業では、身体を動かしながらチームワークや課題解決能力、コミュニケーション能力を養う活動を行いました。

まとめ

通学合宿に参加することにより、子どもたちが主体的に時間を使う体験、身の回りのことを自分でやりくりすること、共同生活での責任・協力、問題を話し合いで解決すること等たくさんのご経験を学んでいただきたいと思います。

子どもたちが友達と共同生活することの楽しさや大変さ、家族と離れて生活することの不安を経験することは、子どもの成長にとって大きなプラスになると考えております。そのことは、事業終了後に実施する子供と保護者へのアンケート結果からも伺えることです。

多くの方々のご支援・ご協力がなくては実施できないこの事業ですが、子どもたちの成長を願って今後も継続していきたいと思っております。

(村山)



課外授業の様子



田上町文化協会

あじさい会

あじさい会は、平成元年に結成し、今年で29年目に入りました。

今では、60代から80代と高齢になりましたが、まだまだ元気で楽しく大正琴を弾いています。

私たちの活動は、年2回の発表会と地区の敬老会参加です。発表会に向けての練習は大変ですが、人前で弾く緊張感と、うまく弾けた時の達成感は何とも言えず、次に繋がるエネルギーとなっています。

以前は、生涯学習フェスティバルで県外まで行き演奏する事もありましたが、遠出も億劫になりました。月2回、町の公



民館で大正琴の仲間と会い、好きな曲を弾き、練習後はお茶を飲みながらおしゃべりをする事。それが一番の楽しみです。

町の公民館も古くなり、2、3年後に移転とか...

新しい公民館は遠くなり、皆様でいけるかどうか心配ですが、29年間お世話になった町の公民館を私たちの交流の場として利用させて頂きたいと思っています。

田上町・あじさい会 長沢 幸枝 記

お花が結び 素敵な仲間たち

フラワーアレンジメント サークル ミモザ

「自由に楽しく」がモットーの、フラワーアレンジメントサークルです。



南魚沼市フラワーアレンジメントサークル ミモザ 高橋 薫 記

参加のペースは、各自、お仕事や用事の都合で、毎週参加の人、月一度の人と色々です。

基本メニュー（資料等）が充実しているので、趣味で楽しむのはもちろん、目標をもって資格取得に挑戦する方もいます。

皆さん、ご自身のスタイルでお花を楽しみ、お花に癒されて、いつの間にかすてきな

お花の輪ができました。毎週火曜日、会員随時募集中です！

弥彦村教育委員会 社会教育係 主事 徳永 拓実さん



弥彦村教育委員会社会教育係2年目になった徳永拓実さんを紹介いたします。

弥彦村出身・在住、弥彦愛にあふれた“弥彦っ子”の徳永さん。村職員を志したきっかけは「村の子どもたちのために働きたい」という強い思いから、だったそうです。その思いが叶い、採用後最初の配属が教育委員会となりました。

配属先の社会教育係では、現在3名の職員で社会教育・体育振興などの幅広い業務、多様な事業を行っています。業務で多忙な日々を過ごしつつも、「子どもわくわく教室」や「キッズチアダンス教室」などの企画に精力的に取り組む姿からは、村の子どもたちへの愛情が感じられます。

私生活では、2人のお子さんのパパの徳永さん。村のため、村の子どもたちのため、そして「ディズニールンド」が大好きなお子さんたちのために仕事に励む徳永さん。これからの活躍がとても楽しみです。

(弥彦村教育委員会 石田 高浩 記)

湯沢町教育委員会 子育て教育部教育課生涯学習係 主任 井熊 靖さん



公民館2年目となります井熊主任、とにかくフットワークが軽く、目配り・気配り・即実行の頼れる人物です。多彩なアイデアとそれを実現できる能力を持った井熊さんのおかげで、公民館を利用する方々のみならず、職員もその恩恵を受けています。きっちりした性格は机上にも現れ、業務終了後はもちろん、ちょっとした離席時も常に整然としています。

動植物を愛する井熊さんは公民館の花壇・館内の植物にも常に気を配り、空いているプランターがあれば花を植え、手入れも欠かしません。グリーンシーズンは自転車通勤している点でも、環境への意識が高いことがうかがえます。公民館勤務になってから誘われた音楽サークルの一員として、出演依頼も快諾し地域の祭りの場も盛り上げています。

そんな真面目な井熊さんですが、お饅頭を一口で食べてしまったり、違う車のカギを持って行って「カギが開かない！」と格闘したりと親しみやすい一面も見せてくれています。

(子育て教育部教育課生涯学習係 小沼 香奈 記)

素顔拝見

ネットワーク

〈新会長が就任〉

第1回評議員会で承認された新役員はトピックスに掲載されています。

新会長は前任の早川寿男氏が退任しましたので、後任者が会長職を引き継ぎました。

新会長 笹川 桂一
(上越市立公民館長)

略歴・上越市の国際交流課長、議会事務局長を経て3月定年退職。4月から現職。市内 直江津在住。61歳。

特技・英会話



評議員会であいさつをする笹川会長

〈新事務局員就任〉

事務局員・島津和子氏の退職にともない、新事務局員に広瀬松司氏が任用されました。



新事務局員 広瀬 松司
略歴・新潟市立坂井輪中学校長を退職後、新潟市教育相談センター指導主事。

二元高柳町派遣社会教育主事。元青少年研修センター副参事。新潟市西川在住。63歳。

お・元・気・で・す・か

「地域活動のおかげで」

永田香久子
(新潟市)



私は退職して13年になりました。23年前に中国語を始めました。きっかけは職場に中国の方が6人入社され、私も少しでも役に立ちたいと思ったからです。国際交流活動にも興味を持って、多少のお手伝いをさせていただいています。中国を自分の目で確かめたいという強い思いで、23年前に初めて海外旅行に行くことができ、見るもの聞くもの全てが驚きの連続でした。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後お元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

中国語サークルでは、たくさん中国人の先生から教えていただいた言葉だけでなく、生活習慣、風習、考え方等を知ることを通して、ますます中国という国に興味を持ちました。先生は平成26年に吉林大学に職を得て帰国され、翌年7月に招かれて中国旅行をすることができました。吉林大学、長白山、大峽谷等を観光し、先生、家族、学生を含め15人で8日間の旅でした。私

の印象に残ったことの二つ目は、吉林大学で研究生と片言の中国語で交流したことが夢のようでした。二つ目は、教室に通された瞬間、一枚の短冊が掲げてあり一瞬にして涙があふれ止まることなく感動したことです。その短冊は、私が卒業記念に先生にプレゼントしたものでした。
「博士官祝し雪降紅のほほ」
このような体験をすることができたのも地域の人との交流があったおかげで、健康を大切に公民館活動をこれからも続けていきたいと思っています。

河川愛護月間

国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。本会でも、良好な河川環境の保全・再生のため、地域住民の河川愛護意識の醸成に協力しています。

新潟県河川協会

会長(加茂市長) 小池 清彦

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

マスクの2回目
1回目は、日本ではマスク使用者が多く驚きという話でした。病気の人のため、マスク着用が必要な人のことではなく、それ以外の理由でマスクをする人が多くて異常だと思っただけです。理由はいろいろ。女性であれば素顔(すっぴん)を見られたくないを隠したい。男性であれば顔を隠して怪しい?ことを。芸能人などはプライベートで外出の定番はマスクにサングラスと帽子。この現象は世界では日本だけだそう、何だか意味が悪いと思います。昔から、会話は相手の目を見て、顔を見て言われても隠していたんじゃないかと思えばよいのやら。

(田原)